

幸南の風



令和4年11月8日 校長 伊藤 公一 第13号

オリンピック選手がやってきた



体操男子の2013年世界選手権種目別あん馬金メダリストで、昨夏の東京五輪に出場した亀山耕平さんが11月8日(火)、学校にやってきました。亀山さんは、本校の第14回生です。自身の体験を踏まえ、応援することや応援されることの大切さを語り、「よい考え方をもつことを意識してほしい。自分に希望を持ってください。」と子どもたちに声がけしてくれました。また、旋回などの技を披露し、正しい姿勢を保つための練習も紹介してくれました。下学年、上学年、そして午後にはPTA、地域住民へ

の講話を合計3回行ってくれました。卒業生がオリンピック選手になったことを誇りに思い、あとに続くような人が出てくることを期待しています。

仙台の教育を語る会【9月7日】



仙台の教育を語る会に佐伯PTA会長はじめPTAの役員の方々とオンラインで参加しました。この仙台の教育を語る会は、毎年行われていて、仙台市の退職校長会が主催して行っている会です。今年度は、コロナ渦で全員オンラインによる参加となりました。「育ちに関わる～学校・地域・家庭が一体となった総ぐるみでの教育」というテーマのもと、行われました。具体的には、CS(コミュニティ・スクールの取組状況と方向性について、幼稚園、小学校、中学校からの話題提供がなされ、話し合いが

行われました。本校でも昨年の6月に学校運営協議会が始まり、これからの活動に大変参考になる研修会でした。特に、学校とPTAと一緒に研修を受けるという機会がコロナ渦でなかったのが、有意義な研修になりました。

宮城県が150周年を迎えました

明治4年(1871)7月、廃藩置県が行われ、新仙台藩は仙台県となり、同年11月には仙台・登米・角田の3県が合併し、改めて仙台県が設置されました。明治5年(1872)1月8日には仙台県から宮城県へと改称されました。その後も隣接する県との間で再編成が何度も行われ、旧仙台領に設置された県名は14にも及びました。最終的には明治9年(1876)8月21日、現在の宮城県の行政区画が確定しました。(宮城県図書館だより「ことばのうみ」N0,73より)